

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	108,612千円	139,410千円	145,362千円	0千円
	総人件費	2,229千円	5,200千円	5,200千円	
	総事業コスト	110,841千円	144,610千円	150,562千円	

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道監視センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(委託料)

事務事業名	配水場等施設の維持管理及び運転管理事業				指標名	業務実績				指標種別	活動結果指標				指標の概要	-					
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
総合戦略	-	-	-	-	実績	365	366	365	365												
個別計画	-				改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-						
	-					改善目標	適正な業務の履行を確保するため、業務受託者に対し監督・指導を強化する。				改善目標	適正な業務の履行を確保するため、業務受託者に対し監督・指導を強化する。									
根拠法令等	水道法24条の3				事業計画	平成28年度以降の委託業務については、業務内容の見直しを行い、更なる水道水の安定供給に向け取り組みます。				平成29年度以降の委託業務については、業務内容の見直しを行い、更なる水道水の安定供給に向け取り組みます。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初			
事業分類	F 施設等維持管理事業					活動実績	平成29年3月31日現在、運転監視業務(浄・配水場の巡視点検及び末端の水質管理を含む。)、電気設備、計装設備、自家発電設備、薬液注入設備の各定期点検業務のほか、自家用電気工作物保安管理、消防設備等点検、階段昇降機整備点検、空調設備点検、自動門扉整備点検、シャッター保守点検、配水池等清掃、事務室等清掃、保安業務の計14項目を包括的に実施しました。				上半期活動実績	-				事業費(A)	108,612千円	139,410千円	145,362千円	0千円	
執行体制	全て委託				成果	平成29年3月31日現在、従来、職員が行っていた運転管理業務を民間企業へ第三者委託したことにより、民間の技術やノウハウを活用することで維持管理業務の充実が図れました。また、水道事業体にとって技術者の確保が困難な状況のなかで、技術的に難しくなる浄・配水場の運転管理や水質管理など、技術上の業務を継続的に実施することができました。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	配水場等施設の適切な運転及び維持管理を実施し、お客様である水道使用者に安心してご利用いただける安全な水道水を常に安定的に供給するため。					課題	水道事業に携わる専門職員の人数が減少しています。これは、全国の事業体に共通する傾向です。当該第三者委託事業もこの流れの一環により実施していますが、同時に委託事業を監督する立場である職員の育成も必要となっている。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	水道法24条の3の規定に基づき、浄配水場施設の運転管理等業務を委託する。				評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-			地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
	H28環境関連性					効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001				H29環境関連性				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			一般財源	108,612千円	139,410千円	145,362千円	0千円	
H28環境関連性				H29環境関連性				事業の進捗状況				事業の進捗状況				人件費(B)	2,229千円	5,200千円	5,200千円		
H28環境関連性				H29環境関連性				達成				達成				正職員	従事割合	0.30人	0.70人	0.70人	
H28環境関連性				H29環境関連性				改善目標の進捗状況				改善目標の進捗状況				時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
H28環境関連性				H29環境関連性				-				-				臨時職員等	有	無	無		
H28環境関連性				H29環境関連性				-				-				事業コスト(A+B)	110,841千円	144,610千円	150,562千円		
H28環境関連性				H29環境関連性				-				-				H30年度当初積算根拠	-				
H28環境関連性				H29環境関連性				-				-					H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	4,393千円	4,393千円	4,995千円	0千円
	総人件費	2,229千円	5,200千円	5,200千円	
	総事業コスト	6,622千円	9,593千円	10,195千円	

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道監視センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(共同水質検査手数料)

事務事業名	- 水質検査事業				指標名	検査実績				指標種別	活動結果指標				指標の概要	水道水が水質基準に適合していること				
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
					実績	12	12	12												
総合戦略	-	-	-	-	H28年度					H29年度					その他の指標	-				
					改善目標	-					改善目標	-								
個別計画	-				事業計画	水道法及び水道法施行規則の規定に基づく検査項目と頻度により水質検査を実施し、総合計画の基本施策である「安全で安定した生活用水の供給」の目的を達成するため取り組んでまいります。					事業計画	水道法及び水道法施行規則の規定に基づく検査項目と頻度により水質検査を実施し、総合計画の基本施策である「安全で安定した生活用水の供給」の目的を達成するため取り組んでまいります。								
根拠法令等	水道法20条				活動実績	平成29年3月31日現在、水道水質基準を順守することを平成28年度の取組み方針として、事業を推進し、すべての水質検査結果が水質基準に適合していることを確認しました。					上半期活動実績	-								
事業分類	C 義務的事業				成果	平成29年3月31日現在、水道法及び水道法施行規則の規定に基づく検査項目と頻度により水質検査を実施し、その検査結果が水道水質基準を超過したことはなく、総合計画の基本施策である「安全で安定した生活用水の供給」の目的を達成しました。					上半期成果	-								
執行体制	全て委託				課題	毎年、水質検査項目及び検査頻度を見直して法令等に基づき適切に水質検査を実施する必要があります。また、茨城県水道水質共同検査業務の基本である水源から給水栓までの一貫した水道水質の適正な管理の特性を有効に活用するとともに、関係機関等と良好な関係を保持し、常に最新の情報を収集することで、水質検査に係る施策を先取りするなどの対応が重要です。					課題	-								
事業の目的	水道利用者が安心して飲用できるよう常に安全で良好な水質であることを確認するため。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況			-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況			-				
事業の概要	水道法及び水道法施行規則の規定に基づく項目、頻度等により水質検査を実施することで、水道水が水質基準に適合していることを確認する。				評価	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-								
ISO 14001	H28 環境関連性	その他			効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-									
	H29 環境関連性	その他			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-									
															事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
															事業費(A)	4,393千円	4,393千円	4,995千円	0千円	
															国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
															県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
															地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
															その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
															一般財源	4,393千円	4,393千円	4,995千円	0千円	
															人件費(B)	2,229千円	5,200千円	5,200千円		
															正職員	従事割合	0.30人	0.70人	0.70人	
															内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
															臨時職員等	有	無	無		
															事業コスト(A+B)	6,622千円	9,593千円	10,195千円		
															H30年度当初積算根拠	-				
															H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	2,729千円	10,666千円	7,560千円	0千円
	総人件費	2,229千円	4,457千円	4,457千円	
	総事業コスト	4,958千円	15,123千円	12,017千円	

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道監視センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(配水場修繕)

事務事業名		- 配水場内施設修繕工事業				指標名	修繕実績				指標種別	活動結果指標				指標の概要	-																									
戦略プラン		- - - -				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-	-							-																				
総合戦略		- - - -				実績	10	-	9																																	
個別計画		-				改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-																										
根拠法令等		-					事業計画	配水場の設備機器の故障や異常発生時等に迅速に修繕を実施する。				配水場の設備機器の故障や異常発生時等に迅速に修繕を実施する。																														
事業分類		F 施設等維持管理事業				活動実績	平成29年3月31日現在、緊急工事を含め計9件の修繕を実施しました。				-				事業実施コスト	H27年度決算					H28年度決算					H29年度当初					H30年度当初											
執行体制		全て委託					成果	平成29年3月31日現在、配水場の設備機器の故障や異常発生時等に迅速に修繕を実施した。				-				事業費(A)	2,729千円					10,666千円					7,560千円					0千円										
事業の目的		配水場等施設の適切な運転及び維持管理を実施し、お客様である水道使用者に安心してご利用いただける安全な水道水を常に安定的に供給するため。				課題		配水場等の水道施設数が多く、また、経年劣化が進行していることから、設備機器の故障が今後増加することが予想されます。水道事業者として常に良質な水道水の供給を行う必要があるため、定期計画的な機器の点検に基づく施設の更新整備等が重要です。				-					内訳	国庫支出金					0千円					0千円					0千円					0千円				
事業の概要		配水場の設備機器の故障や異常発生時等に迅速に修繕を実施するものです。					事業の進捗状況	達成				改善目標の進捗状況				達成				正職員	従事割合					0.30人					0.60人					0.60人						
ISO 14001		H28環境関連性				有効性				中：適切な成果が得られている				-				内職	時間外勤務					0.00時間					0.00時間					0.00時間								
		H29環境関連性				効率性				中：適切な費用対効果が得られている				-					臨時職員等					有					無					無								
		その他				総合評価				B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				-				事業コスト(A+B)					4,958千円					15,123千円					12,017千円									
																		H30年度当初積算根拠																								
																		H30年度当初積算根拠																								
																		H30年度の方向性										理由														